

## 新庁舎建設に関する質疑

合計5日間、11回にわたり開催しました町民説明会での質問内容についてご紹介します。

なお、特に多かった質問、関心が高かった内容を抜粋し、また、内容については一部要約しています。

Q 平成19年に役場庁舎を改修した際に、耐震工事をしなかったのは？

A 改修当時には耐震診断はしてませんが、耐震不足であることは推測していました。しかし、財政状況が厳しい中、小学校と中学校の耐震対策を最優先と考え、役場庁舎は10年を見据えた内外装の改修程度に留めることにしました。

Q プレハブ庁舎が老朽化して、厳しい状況なのはわかるが、改修した庁舎がもったいない。

A 庁舎の耐震不足が深刻であること、有利な起債といった条件がそろっているため、将来的な財政負担を減らすためにも、この時期に建設を進めたいと考えています。

Q 事業スケジュールでは、令和5年度に新庁舎が完成してから旧庁舎を解体する計画となっていますが、今と同じ場所には建てないということですか。

A 新庁舎の位置はまだ決まっていません。ボーリング調査などによって検討しますが、同じ場所に建てることになれば仮庁舎が必要になり、費用負担が大きくなります。

Q 令和5年度に完成となっていますが、工期の短縮や延長、予算が増えたりすることはありますか。

A 実施設計を令和2年度に着手することができれば、有利な起債を借りることはできるため、そこだけは期限に間に合うように実施します。工期や費用については、設備や面積によって変動するため、増える可能性はあります。

Q 高齢者が増えていくので、利用しやすいように施設をまとめて欲しいと思います。

A 現在の役場周辺が町の中心と考えておりますので、可能なものは集約し、コンパクトな街づくりをめざします。

Q スタンド前の急な坂道は今後どうするのですか。

A 新庁舎の場所は、市街地の玄関口と考えているので、国道から入れるようにしたいとは思っています。現在は町道として管理していますが、新庁舎の建設位置と周辺の土地も含めて有効的、合理的な利用方法をこれからの工程で検討します。

Q 他の町でも樹木に囲まれた庁舎が多いが、環境整備はどのように考えていますか。

A 新庁舎周辺の緑化は必要だと思います。環境整備については検討します。

Q 高齢化社会に対応したプライバシーが守られる窓口、相談室が必要だと思います。

A 窓口カウンターには隣と仕切るためのパーティションの設置や完全個室の相談室を検討しており、また、来庁者が庁内を行ったり来たりすることの無いようなワンストップサービスの実現をめざしています。

Q 基本構想では、駐車場は現在と同規模となっていますが、大きな会議があったときは足りていません。

A 葬儀や出席者の多い会議では、駐車場が不足しているのを実感しています。敷地を有効的に使うことで、もう少し広い、使いやすい駐車場を整備できると思います。

Q 木を使った暖かみのある庁舎にして欲しい。

A これからの計画に含めていきたいと思います。

Q 防災機能とは何を指しているのですか。

A 災害対策本部としての機能を維持するため、耐震性能に優れた建物、非常用の発電機、給水タンク、非常用汚水貯留槽などの整備を検討しています。

なお、愛ホールは、今後30年使うために改修したので、避難が長期になる場合の大きな避難所として活用し、防災拠点型複合庁舎では保健センターなどの広い部屋を一時的な避難所にしたいと考えています。

Q 葬儀会場を作らない考えであると聞きましたが、他の説明会では意見がありましたか。

A 愛ホールや他の公民館で代用できることも併せて説明しましたが、反対意見は出ませんでした。町民が亡くなられた時に、葬儀会場が無いということにはならないようにします。

Q 公民館の利用団体は、愛ホールで受け入れられるのですか。

A 現在の利用状況であれば、すべて愛ホールで受け入れることはできるため、ホールは不要と考えています。ただし、利用団体との協議はこれから行う予定です。

Q 中央公民館の機能としては何を残すのですか。

A 文化団体が活動できる会議室などは、新庁舎に整備することは考えていますが、利用の少ないホールは不要と考えています。

中央公民館のホールは、ダンスサークルや会議、葬儀のために利用されていますが、ダンスは愛ホールでもでき、葬儀はこれから文化団体の了承を得られれば、愛ホールなどで行うようにしたいと考えています。

お寺や葬儀の関係者と相談をしていますが、葬儀会場としての設備は整っており、広さについても問題はないと聞いています。

Q 商工会が複合庁舎に入りたいと要望してきた理由は？

A 商工会館は雨漏りなどの老朽化が深刻であり、現在の商工会には建て替える経済力はないことも理由ですが、新庁舎が町の中心拠点として賑わいを作り出すために、その施設の管理、運営を商工会が担うなど、連携を深めることが必要になるためです。

Q 商工会が移転すると跡地が空白になりますが、今後どうしていくのですか。

A 本町の商店街は少し長すぎると感じています。商業地域はコンパクトにまとまった方が賑わっているように見えるし、利便性も高まると考えています。

Q 賑わいの創出については、観光客を呼び込むということでしょうか。

A 浜小清水地域では、道の駅はなやか小清水や小清水ツーリストセンターの周辺を訪れる観光客が増えているため、その一部を市街地にも呼び込みたいとは考えていますが、町民が利用しやすく、集まることができる施設にすることを優先に考えています。

Q 検討委員会でもアイデアが出されていますが、コインランドリーは必要だと思います。大型の洗濯機であれば布団も洗え、家事の軽減につながるので利用する人は集まるのではないのでしょうか。

A コインランドリーの需要が増えていると聞きますし、民間企業からも人が集まる機能として提案を受けています。これに限らず、人が集まり、賑わうためにはないがよいか検討しています。

Q 今後も町民説明会をやるのですか。

A 現在進めている基本計画ができた段階で、次の町民説明会を開催します。また、その後も基本設計や実施設計などの工程の区切りで開催を計画しています。